

定期作況報告

(第6号 平成16年10月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

9月下旬：最高気温および最低気温は平年より各々0.7、1.0 高かった。降水量は平年より7 少なく、平年対比85%であった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より11.5時間少なく、平年対比77%であった。

10月上旬：最高気温は平年より2.8 高かった。最低気温は平年並であった。降水量は平年より42 少なく、平年対比9%であった。降水日数は平年より5日少なかった。日照時間は平年より12.4時間多く、平年対比134%であった。

10月中旬：最高気温および最低気温は平年より各々2.1、0.2 高かった。降水量は平年より16mm 少なく、平年対比52%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より16.3時間多く、平年対比143%であった。

9月下旬から10月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	19.8	19.1	0.7	18.7	15.9	2.8	16.3	14.2	2.1	18.3	16.4	1.9
最低気温()	9.3	8.3	1.0	6.2	6.2	0.0	4.2	4.0	0.2	6.6	6.2	0.4
平均気温()	14.5	13.3	1.2	12.0	10.7	1.3	10.0	8.9	1.1	12.2	11.0	1.2
降水量()	41	48	7	4	46	42	17	33	16	62	127	65
降水日数(日)	4	6	2	1	6	5	5	6	1	10	18	8
日照時間(h)	38.4	49.9	11.5	49.4	37.0	12.4	54.3	38.0	16.3	142.1	124.9	17.2

注1) 比布アメダス観測値により上川農試で算出。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。上川農試で算出。

3) 印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稲 : 不良

事 由:

[籾数]: 当たり穂数は中苗「きらら397」が平年よりやや少なかったが、そのほかは平年並であった。一穂籾数は成熟期後の台風により籾が脱粒したことも影響し、平年対比87~93%でかなり少なかった。その結果、 当たり籾数(当たり穂数×一穂籾数)は30,000粒前後となり、平年対比88~93%であった。

[稔実歩合・稔実籾数]: 稔実歩合は成苗「きらら397」が平年よりわずかに低かったものの、そのほかは平年並であった。 当たり稔実籾数(当たり籾数×稔実歩合)は平年対比86~92%でかなり少なかった。

[登熟歩合・ 当たり登熟籾数]: 登熟歩合は中苗・成苗ともに平年をかなり上回った。 当たり登熟籾数(当たり籾数×登熟歩合)は成苗は平年を下回り、中苗は平年並から平年をやや上回った。

[精玄米千粒重]: 平年より0.3~0.8g軽かった。

[精玄米重]: 粒厚1.90 以上の収量は「ほしのゆめ」中苗が平年対比91%で、「きらら397」の中苗および成苗は平年対比それぞれ90%、88%であった。

以上、いずれの品種・苗も収量が平年をかなり下回り、品種・苗をこみにした収量の平年対比は90%であった。このため、本年の作況は不良である。

表2 収量構成要素・決定要素および収量

品 種 苗	当たり穂数(本)				一穂籾数(粒)				当たり籾数(×1000粒)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	687	708	21	97	42.7	47.0	4.3	91	29.3	33.3	4.0	88
ほしのゆめ 中苗	765	766	1	100	41.4	44.4	3.0	93	31.7	34.0	2.3	93
きらら397 成苗	734	730	4	101	40.5	46.4	5.9	87	29.7	33.9	4.2	88

品 種 苗	稔実歩合(%)				当稔実籾数(×1000粒)				登熟歩合(%)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	91.6	91.9	0.3	100	26.8	30.6	3.8	88	86.4	76.4	10.0	113
ほしのゆめ 中苗	90.4	91.4	1.0	99	28.7	31.1	2.4	92	86.8	78.2	8.6	111
きらら397 成苗	89.4	91.6	2.2	98	26.6	31.1	4.5	86	84.1	78.5	5.6	107

品 種 苗	当登熟籾数(×1000粒)				精玄米千粒重(g)				精玄米重(/10a)			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら397 中苗	25.3	25.4	0.1	100	22.2	22.5	0.3	99	531	592	61	90
ほしのゆめ 中苗	27.5	26.6	0.9	103	21.3	22.1	0.8	96	511	563	52	91
きらら397 成苗	25.0	26.6	1.6	94	22.1	22.8	0.7	97	528	602	74	88

注1) 平年値は平成9~15年7カ年のうち平成10年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて減を示す。

3) 稔実歩合: 触手で求めた。

4) 登熟歩合: 比重1.06の塩水選で求めた。

5) 千粒重・精玄米重: 粒厚1.90 以上。水分15.0%に換算。

2) 秋まき小麦 : 平年並

事由: 播種期は平年より2日早い9月6日であり、出芽は良好であった。現在のところ、茎数は平年より多いが、葉数は平年並である一方で草丈が高く、やや徒長気味の生育である。
したがって、目下の作況は平年並である。

表3 10月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	播種期(月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本 /)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ ホクシン	9. 6	9. 8	2	35.0	27.6	7.4	1921	1477	444
	9. 6	9. 8	2	34.4	26.4	8.0	1805	1558	247

品 種 名	葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ ホクシン	6.0	5.6	0.4
	6.0	5.9	0.1

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年を除く5か年の平均値(収穫年度)。
2) は平年より早を示す。

3) 大 豆 : 平年並

事由: 成熟期は平年より9~11日早かった。主茎長、主茎節数、分枝数は、両品種とも平年を下回った。「トヨムスメ」は、着莢数が平年より多かったものの、百粒重は平年を下回り、子実重は平年比107%となった。「トヨコマチ」は、着莢数、百粒重共に平年を下回り、子実重は平年比94%であった。両品種共に、屑豆率は平年よりも低かった。
したがって、作況は平年並である。

表4 成熟期の大豆の生育および収量

品 種 名	成 熟 期 (月日)			主 茎 長 ()			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ トヨコマチ	9.21	10. 2	11	59	63	4	9.9	10.4	0.5
	9.15	9.24	9	62	65	3	10.6	11.1	0.5

品 種 名	分 枝 数 (本 / 株)			着 莢 数 (個)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ トヨコマチ	5.9	7.4	1.5	84	76	8
	5.4	6.7	1.3	70	77	7

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)			
	本 年	平 年	比 較	対平年比 (%)
トヨムスメ トヨコマチ	461	434	27	107
	396	422	26	94

品 種 名	100粒重 (g)			屑 豆 率 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ トヨコマチ	34.8	38.1	3.3	0.6	2.1	1.5
	34.8	35.5	0.7	0.5	2.1	1.6

注1) 平年値は、前7か年中、平成9年(最豊)及び平成14年(最凶)を除く5か年の平均値。
2) は平年より早を示す。 は平年より減を示す。

4) 小豆 : 不良

事由：登熟期間が短かったため、百粒重は両品種とも平年より軽かった。子実重は平年比57%～67%と極めて低収となった。屑豆率は両品種とも平年より低かった。したがって、作況は不良である。

表5 小豆の収量

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)			
	本 年	平 年	比 較	対平年比(%)
サホロショウズ	249	373	124	67
エリモショウズ	216	379	163	57

品 種 名	100粒重 (g)			屑 豆 率 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	12.5	14.3	1.8	0.7	3.0	2.3
エリモショウズ	11.9	13.0	1.1	0.7	1.9	1.2

注1) 平年値は、前8か年中、平成14年(最豊)、平成11年(最凶)、平成12年(参考)を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

5) てんさい : 平年並

事由：収穫は平年より2日早い10月15日に行った。茎葉重は平年よりかなり軽かったが、根重は概ね平年並と考えられる。根中糖分、糖量は分析中である。したがって、目下の作況は平年並である。

表6 収穫期のてんさいの生育、収量

品 種 名	収 穫 期 (月日)			茎 葉 重 (kg/10a)			根 重 (kg/10a)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
モノホマレ	10.15	10.17	2	3429	5239	1810	(8461)	7763	(698)

品 種 名	根 中 糖 分 (%)			糖 量 (kg/10a)			平 年 比 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
モノホマレ	-	16.8	-	-	1293	-	-	100	-

注 1) 平年値は前7か年中、平成11年、15年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示し、 は平年より減を示す。

3) 根重は本年は土砂付き重量を、平年値は土砂引き重量を示す。